

## 利用者懇談会 平成20年度

### 平成20年度第1回国分寺市図書館利用者懇談会（恋ヶ窪図書館）

日 時 7月22日(火) 午2時30分～4時  
場 所 恋ヶ窪公民館 会議室  
参加者 市民4人

#### 子ども読書活動推進計画やその他図書館に関する意見

意見：内容の充実した計画を作っているが、国や都の制定から5年たっているが、他市の案を雛形にしたのか？

図書館：素案の段階では他市のものも参考にし、その後、利用者懇談会の意見も取り入れ、国分寺市としてのものを作成した。

意見：実現していくには市民が参加しなければならないということですよね。

図書館：そうです。

図書館：子ども読書活動で国分寺市の特徴は、市民が学校で読み聞かせを行っていることが多い。学校図書館の充実をもとめる意見が多かった。子どもたちへの読書の強要は良くないという意見があった。

意見：朝の読書、どれくらいの頻度で行っているのか。

図書館：小学校は全校で行っている。

意見：山形の朝陽小学校など読み聞かせはプラスの評価がある。子どもは読書などではなくインターネットなども触れる機会があるので、さまざまな読書のメリットを相対的に打ち出していく必要がある。

学校図書館に予算措置されているものは100パーセント図書館の充実に当てられているのか。

図書館：学校の予算のことは図書館では応えられないが、国分寺市は学校図書館の図書費が充実している。3小4小5小を図書指導担当の配置のモデル校にして 前向きに活動している。

意見：団体貸出をするといっているが、上野の図書館（国立国会図書館国際子ども図書館）からの団体貸出の利用なども考えていくのはどうか。洋書など市では買えない様なものを借りていくのが良いのでは。

図書館：国分寺市は学校クラス単位の団体貸出が多い。上野の図書館の件は調

査する。

意見：この懇談会の位置づけは？専門的過ぎる。

図書館：。懇談会の主旨は、地域の方のご意見を伺うことなので、多岐にわたるご意見を伺いたい。

意見：この4人という少人数の意見で懇談会は成立するのか？

図書館：数多くやって意見を集めたい。図書館運営協議会でも協議してもらっている。懇談会でいただいた意見については、出来るだけ反映させていきたい。ブックポストも懇談会の意見をもとに設置した。

意見：7月31日が図書館運営協議会で、利用者懇談会は8月5日までとなっているが、懇談会の意見を7月31日協議会に反映させるべきでは。

図書館：協議会が8月に任期が切れることもあり、7月31日になってしまった。

意見：予算特別委員会の議事録は、ホームページにもまだ載っていないが、借りたいと思ったら貸出中だった。定例議会の議事録も恋ヶ窪は貸出できる。館によって貸出不可のところと貸出可のところがあるとの説明があったが、せめて、新刊の間は貸出をせず図書館に置いておく方が良いのでは。

図書館：検討させていただく。以前、貸出希望の意見があったので、恋ヶ窪は貸出をしている。

意見：1冊しかないものを貸出ししてしまっていて良いのか。雑誌のように、新刊のうちだけ禁帯にするのはどうか。見たいときに見ることが出来ず、貸出しが早いもの勝ちになるのはどうかと思う。地域資料や議会資料は書店で買えない特別なものである。

図書館：市議会資料などは3部送られてくるので、恋ヶ窪図書館・駅前分館・保存分となっている。議会資料はなるべく早く登録し、書架に置くようにしている。雑誌のように一ヶ月禁帯にするか、検討していく。

意見：複本があれば、貸出ししても良いと思うが、地域資料の書架が一杯なので、その整理が必要では。

図書館：駅前分館は館内にして、恋ヶ窪は貸出し、オープナーで閲覧できるようにするという案もある。

意見：ホームページで図書館の本は検索できるが、オープナーの本は検索できない。

意見：新システムではクロス検索はできるのか。

図書館：今も出来るが、これから利用者端末にキーボードも置いてクロス検索などできるようにしていきたい。

意見：近辺の図書館は民営化されているが、国分寺市はどんな流れなのか。

図書館：当面直営でというのが教育委員会としての考え。

意見：総務省が民営化は慎重にやるべきだと都道府県に申し渡している。国の方は非民営化に傾いている。

図書館：文部科学省は最初、民営化にそぐわないと以前に言っていた。指定管理者制度の導入を意図している。国も揺れている。

意見：図書館運営協議会でどんな議論をしているのか、どんな結果なのかわからない

図書館：協議内容の要点記録は地域資料として受け入れしている。リアルタイムに登録できないが出来次第登録するようにしている。

意見：決定したあとではなく、決定する前の協議会の議論が知りたい。

意見：利用者懇談会は、全館で行わず2館か3館でまとめてやるのはどうか。

図書館：検討していく。

意見：市内に大学図書館があるが、貸出できるのは東京経済大学しかないのか。

意見：学芸大は、どの方でも借りられるようになったはず。一ツ橋・法政・明治は絶対に貸出も閲覧もしない。

図書館：大学図書館の許可があれば、紹介状を作って、資料を限定して閲覧するだけなら行っている。

意見：期限内に返されてない本が多い。紛失した本もある。その利用者への対処の仕方はどうなっているか。貸出制限などはしているのか。

図書館：国分寺市は貸出制限はしてない。多摩地域でもやっているところは少ない。電話やはがきによる督促を行っている。利用される方のマナーの問題だがこれから顕著になれば規制していくことも考えていかざるを得ないという意見もある。

意見：除籍の仕方について聞きたい。書店で人気の本が除籍されてリサイクル棚にあったが、そのような人気の本を除籍するのはどうか。

図書館：ご指摘のあった本は、図書館に複本のある本だった。収納スペースの関係で、新刊を入れれば古い本を捨てる必要がある。除籍しないほうが良い本の意見はその都度聞かせていただきたい。

意見：ブックポストは絶対反対。本が傷むのに、なぜ容認したのか。借りるときだけ図書館に行って、返すときだけ近いところでというのは良くない。

図書館：西国分寺駅前に図書館ができれば一番良いが、まだ先が見えない。近くに図書館がなく要望が強いため設置した。ブックポストは本が傷むのは確かだが、ブックポストがあることで図書館を利用してもらえる人が多くなればと思い設置した。市民の方の中でも意見を議論してもらいたい。

## 平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（並木図書館）

日 時            7 月 2 3 日（水） 午後 1 時～ 3 時  
場 所            並木公民館 和室  
参加者           市民 8 人

### 1. 図書館のサービス・利用環境等について、

意見：前から申し上げていることだが、開館時間を早めることを検討して欲しい。閉館時間を 1～2 時間繰り下げることのニーズも多いと思うが、今後、並木の地域でも退職して家にいる人が多くなり、その人たちは朝が早く、図書館を今より早い時間から利用したいと思うので、開館時間を早めて欲しい。

図書館：開館時間の延長については、現在、職員による検討委員会にて検討中であるので、その委員会へ報告したい。

意見：並木図書館の存在を知らない方が多いのではないか。公民館だと思っ  
ている方が多いようである。2 階の窓に図書館と書いてはあるが、はっきり  
り図書館とわかる表示や P R の工夫が必要である。

図書館：検討したい。

意見：図書館に長くいると喉が渇くので、お茶などの飲み物を飲んでも構わな  
いか。

図書館：資料等を汚す場合があるので、館内ではご遠慮いただいている。1 階  
の公民館ロビーに清涼飲料水の自動販売機が設置され、イスとテーブル  
もあるので、そちらをご利用いただきたい。

### 子ども読書活動推進計画について

#### ① 9 P の調べ学習のための図書の充実を図る→

- ・国分寺市の学校図書館の蔵書は充実していると思うが、置き場がない。  
空き教室を利用などして本の設置場所の確保をしてほしい。  
棚のゆとりを考えるのは大切であり、余裕があれば、調べ物をする場所  
と棚を別にするとかできるといい。
- ・調べ学習をひとりではできない子もいる。本来学校ですべきだろうが、市

立図書館がリストなど作り学校へ入ってほしい。

- ・ P T Aとして学校図書館に関わっているが、学校図書館での選定に市立図書館として助言が欲しい。

学校図書館で廃棄する本を子どもたちへリサイクルできるといい。

(P T Aで、学校に聞いてみたが、市の財産なのでできないとのこと)

- ・ 学校図書館を充実させるには、市立図書館との話し合う場を持つことが大切であると思う。

### ② 3 Pの計画の実現に向けて→

- ・ 取り組みの基本的な考え方として～6行目

(どの子にも平等に提供します)とあるが、とても大切なことであるが難しいところでもある。

子ども一人一人の動きが見えなければ、本当の意味での計画にならないし、部署としては一生懸命やっているが、横のつながりがないため、計画だけで終わってしまう。地域・家庭・学校が一つになること。つまり学校と市立図書館とか横の関係をとることが大切。また、家庭も千差万別であり、価値観の違いもある。親への啓蒙も必要。

### ③ 10 Pの中学生に向けて→

- ・ 中高生にとっての魅力あるコーナー作りが大切。
- ・ 並木図書館においては、スペースがないので難しいが、興味をもたせる展示の工夫など必要。
- ・ 中学校へのブックトークをぜひ行って欲しい。  
ブックトークを知らない先生もいるのでPRした方がいい。

### ④ 子ども読書活動推進計画は0歳から18歳までだが、ある世代にウエイトを置いてすすめた方がよいのではないか？

- ・ おはなし会に来るのは親の考えであり、親が来なければ機会がない。  
多くの子どもたちにそのような機会を持ってもらうには、小学校の時に力を注ぐべきではないか。学校は学びの基本であるし、そこには子供たち全員がいる。
- ・ 自分が本に出会ったのは小学校の図書室であった。どこかにウエイトを置くとすれば、ロングセラーの絵本も生きているので、乳幼児期と読書量の多い小学生を(2年～3年生)でどうだろうか。

### ⑤ 保育園で「ひよこえほん」のリストをもらったがその意図がはっきり分からなかった。このリストのセットを保育園に貸出とかすると良いと思う。

図書館：以上、本日いただいたたくさんのご意見は、策定を進めている「子ども読書活動推進計画」の中でできるだけ反映させていきたいと考えてい

ます。

## 平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（いずみホール）

日 時 7 月 25 日（金） 午後 2 時～3 時 30 分  
場 所 いずみホール 視聴覚室  
参加者 市民 9 人

### 1. 子ども読書活動推進計画について

意見：学校と図書館の交流をさらに進めていくことが必要だ。年 2 回と言わず、図書館と学校がもっと突っ込んだ話し合いをするべきだ。学校から言っ  
てこないなら図書館から歩み寄ることが必要。

意見：小学校 2～3 年生は読書をしている。定着させるために何かしてほしい。

意見：乳幼児の段階から、例えば健康推進課と協力しながら進めてほしい。

意見：乳幼児検診時にリストを渡すと同時にその場で何冊か読んであげられる  
ともっとよいと思う。

図書館：乳幼児への絵本リストを健康推進課でも配布するようにする。健康診  
断のときに図書館職員が出向き説明できるようにしていきたい。

図書館：健康診断の時などに貸出しができる仕組みができないかと考えている。

意見：乳幼児への絵本リストは、カラーだともっと手に取られやすいと思う。

図書館：今まで図書館は来館してくださる利用者へのサービスに努めていたが、  
今後は外に出て行き、市民に教えていただきながら工夫していきたい。

意見：モデル校になった 4 小の図書館便りに「公共図書館をもっと使おう」と  
いう内容の記事があり、変わってきたなと思った。

意見：子どもが本を手にもふれられる場所が身近にあることが大切。図書館が遠  
くてベビーカーでは通えない。小学生にとってもこの地域から図書館に  
行くのは遠い。移動図書館があればいいと思う。

意見：この地域で文庫が講演会をしても、図書館が遠いので、そろえた本がそ  
の場で貸出しできない。また、会場の確保も難しくいつも大変である。

意見：もとまち図書館が講演会などの時に、連携して良くしてくれている。

意見：モデル校 3 校のうち、4 小担当者はモデル校化以前からの経験者だが、  
3 小・5 小の方は経験者ではない。図書館から学校の支援や研修の支援  
が必要。

意見：児童館、学童保育所の読み聞かせプロジェクトに期待している。

図書館：プロジェクトでよい本を増やし、長い目で見て子どもにとってよい形をつくっていききたい。

意見：小学校中学年・高学年用の団体貸出用セットは何時から配るのか。

図書館：2学期の途中くらいからの予定です。

意見：ある学童では登所して20分を読み聞かせに充てている。発達障害の子どもがクールダウンするなどいろいろな意味で子どもたちの心が整う。

意見：読み聞かせの講習会をしていただけると、読み聞かせの仕方がわからなくてしりごみしているような人の助けになると思う。

意見：読み聞かせの仕方や本の選び方など教えてくれる人がたまたまそばにいて助けられた経験があるが、図書館が講習会で取り上げてもらえるとういと思う。

意見：もともとち図書館の講座が主体になってお話の自主グループが立ち上がったが、将来的に図書館が加わった形でいろいろな場所に語りにいければいいと思う。

意見：利用者懇談会で出た意見を、運営協議会で話す時間がなかった。西国分寺駅前のブックポストの設置はわかりやすいことだが、懇談会で出された意見がどう反映されたかわかりにくい。

意見：この計画の実現のために重要なことは、①乳幼児期からの施策の充実②学校と図書館の意思疎通を図る、と考えている。

意見：西国分寺駅前にブックポストを作ってくれて、また4小の図書指導担当常駐してもらいよかった。

## 2. 図書館サービスについて

意見：国分寺駅南口にブックポストがほしい。

図書館：国分寺駅南口のブックポストの予定はありません。ブックポストは回収や安全面など維持管理にいろいろ気を使うことが多い。西国分寺のブックポストは今のところ特に問題なく運営できている。

意見：高齢者は返却期日を気にする。気になっている本を返すだけでも返したい。自宅から遠い図書館を利用するために、高齢者は子どもの世代に頼らないと本の貸し借りができない。西国分寺に図書館がほしい。

図書館：平成19年度からの長期総合計画に図書館建設は入っていない。

意見：泉町に図書館があるといい。

意見：リクエストした本をここまで持ってきていきますという仕組みがあるといい。

意見：泉町のブックポストの収容能力は

図書館：カタログでは200冊となっている。毎日回収できないため2台設置。

意見：本多の YA コーナーは一般の本棚から遠すぎる。書架の配置を検討してほしい。

図書館：一般書と児童書のコーナーの境目にある壁のあたりがどうかと考えている。

## 平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（本多図書館）

日 時 7 月 30 日（水） 午後 2 時～3 時 30 分  
場 所 本多公民館 実習室  
参加者 市民 6 人

### 1. 子ども読書活動推進計画について

意見：乳幼児向けリストはとても良いが、若い母親たちがどのように手に取ってくれるのだろうか。

意見：お話グループの活動で、児童館では手遊びなどもしている。読書へのきっかけになれば。

意見：何を読んだらよいかわからないお母さんたちにリストは良いと思う。

意見：私立の幼稚園や保育園への働きかけは難しいのでは。

図書館：調査の結果読み聞かせなどは充実している。リストが欲しいという要望があった。リストを配ったり団体貸出しをしたりしている。

意見：以前はお話し会に来ていた学童保育の子たちが、人数が多いせいで連れてきてもらえなくなってしまった。

図書館：図書館へ来てくださいというスタンスだけではなく出かけていくことが必要。図書館に来られる人ばかりではない。

意見：おはなしグループはこの子ども読書活動推進計画のどの部分にあたるのか。

図書館：現状やっていることは書いていないが、乳幼児から小学生の部分にあたる。

意見：「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」を見て、お父さんがお膝に抱っこして赤ちゃんに読み聞かせをしている。今は形から入る時代なのか。

意見：小学校読書活動推進モデル校に 10 校中 8 校の申し込みがあったそうなので、熱心さが伺われ学校にも期待が持てる。

意見：おはなしグループの活動で読み聞かせの前に伝承遊びをよくやっている。お母さんや先生も知らないことが多いので伝えていくことも大切に思う。

意見：親子で座って読めるスペースがあるとゆったり読書できて良い。

意見：YA コーナーは奥にあるので気付かない人もいるかもしれない。

意見：中学生はなかなか読書に結びつかないが、小さい時に読書の土台ができていればいずれはまた読むようになるのではないか。

## 2. その他の意見・質問・感想

意見：駅前分館はまだ空いているスペースがあるようだがどのくらいの広さなのか。

図書館：80 m<sup>2</sup>。3000 冊収容できる。

意見：駅前分館はリクエストをしたり本を受け取ったりの窓口として使えて便利。

意見：西暦と元号に分かれている資料があり見難い。駅前分館に対照表を貼ってもらえて良かった。

意見：隣接の立川・小平・小金井とも相互利用を考えてほしい。

図書館：検討はしているが、国分寺市民サービスを第一に考えなければならぬ点と本多図書館のキャパシティの問題があり難しい。

意見：将来的に導入予定と聞いている自動貸出機は利用者との触れ合いがなくなりそうである。

## 平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（光図書館）

日 時 8 月 1 日（金） 午後 2 時～ 3 時 30 分  
場 所 光公民館 中会議室  
参加者 市民 3 人

### 子ども読書活動推進計画と図書館サービスについて

意見：1 つお願いなのだが、もし予算の余裕があれば、5 館のうち 1 館でもいいのでカラーコピーを設置してほしい。新聞のカラー部分や図鑑などを取る際には、是非あってほしい。

図書館：現状を説明すると、市役所全体で一括リース契約をしている。安価になるのでメリットもある。次回契約の際にはカラーコピーの機能も要望してみたい。ただリース料は思いのほか高いものとなる。他市の大きな図書館ではカラーコピーも設置するようになってきたが、料金は結構高い。

意見：棚にある本にインターネット上で予約できるようにすると、あとの処理が大変で業務が増えるのはわかる。

意見：インターネットで予約をかけてきたものに、返事をメールでなくて電話にすると大変だと思う。メールでいいのでは？

図書館：現在は電話・メール自由選択で、実態は、返事連絡の申し込みはメールより電話の方が多い。

意見：図書館から一度に借りられる本の数が 1 2 冊でとても多いので、いったいどのように読めるのかと思う。全集ならば 1～1 2 巻まで読みたかったらまた明日くればいい。来館して自分の目で見て選ぶのが、ふつうではないか？何が「公共」なのかを考えたほうがいい。機会均等を大切に、公共と個人の範囲を超えないようにしてもらいたい。便利さを追求すれば、税金が必要となる。もう一度立ち止まって考える必要があるのではないか。市にお金もない、何にもない中で、サービスはできるのか？一度はじめたサービスは簡単にやめられないので、慎重に考える必要がある。あまりサービスばかり考えていると、図書館自身の首をしめること

になったら困る。

意見：いつも光図書館を利用して、いろいろ勉強させてもらっている。夏も冬も寒いので、空調のシステムを考えてもらいたい。

意見：子ども読書推進計画自体を知らなかった。一体、子どもの読書離れなどというのはいつからなのか。自分たちが子どもの頃の環境に比べたら、はるかに恵まれている。

図書館：全国読書調査などはここ何年も同じような状態で、「読書離れ」ということが強く言われ、国会等でも議論され、対策的な法律ができ、市でも動いている。

図書館：子ども一人ひとりの統計的な読書量が落ちていると言われる現状の中、図書館はその機会を提供する。図書館の貸出自体はここ10年位で、年間80万～100万冊に増えていて、世代や層も変わりつつある。

意見：政策として、読書好きな人間を作るなどというのは、絶望的なものではないか。

意見：こども読書推進計画の中で、大人に向けて、大人を育てるための講演会や講習会をする等あるが、中学生に向けても読書会や新聞づくり等を応援する等して、中学生自身が主体的に考えていくことを大切にしてほしい。

意見：図書館としては市民ボランティアをどのように考えているのか、聞いてみたい。職員減らしとはとらえずに、市民を育てるという方向で考えられないか。

図書館：小平市などは返却された本を拭いてもらっている。国立市では書架整理や植栽の手入れなどにボランティアが入っている。ただ、図書館で作業のための部屋確保や機材等の準備が必要となる。

意見：利用者懇談会に来られる人が少なく、声をかけても来ない人が多いので、ご意見箱に利用者懇談会のスケジュールやお誘いのPRを出したらどうか。

意見：来ない人はどうして来ないのかを知りたい。また利用者懇談会を何館かまとめて一回でやる方法を考えてみたらどうか？ただ「利用者懇談会開催」と言っても利用者は来ないのではないか？もっと具体的なPRをしたらどうか。

意見：インターネットの使い方を説明するなどのオプションをつけたら、参加者が増えるのではないか？利用者懇談会に参加してよかったと思え、プラスになるようにしてほしい。

図書館：そのような企画を行ってもいいと考えている。初歩的なことだが利用者端末の使い方の質疑を受けたり、閉架書庫を案内したり。

意見：地域資料についてだが、各館で分類がだいぶ違っているように思える。地域別なのか、項目別なのか、分かりにくい。求める資料がすぐ出てくるようなものにしてほしい。

図書館：三多摩郷土資料研究会でつくった分類に準じているが、それは原則的に主題別になっている。求める資料がすぐ出てくるようにするためには、地域資料のスペースがもうすこしゆったりできないと詰まりすぎでわかりにくい。

意見：利用者懇談会に出た意見は知らせてもらっているが、そこで出た意見を図書館協議会で議論する時間が少なかったことを反省している。

意見：行政へのボランティアの仕方については、お互いの気持ちが大切。例えば、本の寄贈などがあるが、内藤地域センターでは地域祭りの際に2日間に寄贈本を1冊10円で売っている。それを運営費に当てている。

意見：学校図書館についてだが、教師が読書指導を十分に出来るようにしてほしい。また、こどものコーナーや書架にもっと大人が入りやすくしてもらいたい。

## 平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（もとまち図書館）

日 時 8 月 5 日（水） 午後 2 時～ 3 時 30 分  
場 所 もとまち公民館 会議室  
参加者 市民 2 人

### 1. 子ども読書活動推進計画について

意見：子どもの読書は母親のお腹にいるときから始まるものである。健康推進課と連携して健康診断時に本の紹介を行ったり、「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」を母子手帳の中に挟んで一緒に配るのは良いが、今現在は実際に何か行われているのか。

意見：健康推進課の窓口では都から配布されたものがたくさんあるが、図書館の作成した「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」をいずみプラザや役所の窓口などに置いて、切らさないように常時置いておくようにしたらどうか。

図書館：計画では 3・4 ヶ月検診・1 歳 6 か月検診時に図書館の職員が「ひよこえほん」のブックリストの配布や本の紹介をする事業を予定している。先日、実際に検診が行われている時に、見学に行き、健康推進課の職員の方と打ち合わせを行った。準備が整い次第、20 年度中に行っていきたい。

図書館：「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」は最近出来上がったものなので、これから増刷して、各窓口に近い時期に置いてゆきたい。

意見：「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」は保護者に対しての啓発で、ホームページに掲載していくと思うが、費用の点で無理かもしれないが、啓発として、黄色い用紙を広げて張り紙（ポスター）を貼るといえるのはどうか。見てくれる人が少数でも貼ってもらえば見るお父さんがいるのでは。

図書館：貼れるように考える。

意見：学校図書室の図書指導担当の常駐化については、子どもの読書環境を考えていくためには、必要だと思う。今まで全日配置はとっくに導入されていたと思っていた。

図書館：昨年までは小学校は週2回、中学校では週1回図書指導担当が来ていた。国分寺の学校図書館は1万冊弱の蔵書で、予算は100万円くらい持っている。多摩地区では上位にある。司書教諭は12学級以上の学校に担任、担当教科などを持ちながら兼務をしている。

図書館：今年度から第3・4・5小が3校、モデル校として常駐化を行っているので、1年間、効果を含めて配置していければと思っている。

意見：高学年になる程、読む本の数が減ると説明があったが、ある県で剣道の関係でいうと、4年生ぐらいになると出席する子どもが減っていく。塾に行ったり、現実的に時間の配分が難しくなる。

意見：小学生では日曜日に図書館には来ているが中学校になると新しい友達も出来て行動範囲が広くなり、おじいちゃんおばあちゃんも孫が小学生の時は本の話をするが、中学生になると子どもの行動がつかめなくなっていると言っていた。子どもに本を読ませるのは難しい。

意見：市民との協働の取組のイメージがわからない。例えばどのような事があるのか。

意見：学校での読書週間は行っているのか

意見：地域での読み聞かせの講習会はどのような形で行うのか。

図書館：市民との協働は現在、もとまち図書館では学校のおはなしの出前で本の紹介、語りなど地域文庫の方と一緒にやっている。図書館の中ではおはなしグループさんに本の読み聞かせをして貰っている。また、地域では児童館などにおはなしに入っている。

図書館：春の読書週間、秋の読書週間など学校により設定している。現在はほとんどの学校が読書に力を入れている。図書館の職員が全校生徒の前で本の紹介をしたりもしている。

図書館：学校での朝の読書の時間に保護者が本を選びに図書館に来て相談をよくされる事や、この度の計画案をつくるための取材で保護者の方がどんな本を読むのか迷っていることがわかったので、職員が講師になって本の紹介や読み方の技術も含めた講習会を行いたいと思っている。

意見：中学は地域の子どもが市の中学校に行くが、高校は市民が皆、地域の高校に行くわけではないので、どういうことが出来るのか。

意見：高校生は数字だけで悪いという判断をしないで、小学校低学年の子どもについてどのようにしていくのが大切である。図書館で小さい子どもが10冊くらい本を借りている。お母さんが一緒に借りていく姿もみるが、感心する。

意見：ある人で小さい頃、お母さんが新聞を読んでそれを字に書かされていた。現在、仕事ですぐに文章にすることが出来、役立っている。読書も回帰

性で、小さい頃の経験がまた大人で生かされるのではないか。

意見：東京都の子ども読書活動推進計画は平成15年度に策定されている。40都道府県のうち147市で推進計画が出ているところがある。他市を見てみたいがどうか。

意見：経験から本を読むことと勉強とは違うと思う。

図書館：東京都の計画は貸出が出来る。全国の市の計画を全て収集している訳ではないが、東京都の中の既に策定済みの市はこちらで収集しているのをご覧いただける。

意見：この計画のこれからの予定は。

図書館：文教委員会や教育委員会に中間報告をし、意見を伺っている。文教委員会・社会教育委員の会議や市の各担当職員の意見を伺っている。パブリック・コメントを実施し、教育委員会で承認されれば、秋には策定していく予定。20年度の半分も過ぎているが、今現在行っている事業も計画には含まれている。今後の事業も実施するための準備を行っている。

意見：本がボールペンのインクやマーカーでしるしをつけられている。マナーの問題で規制が出来ないが啓発としてこの計画で本を大切に扱う文言を入れられないか。

図書館：実際には、図書館で小学生の子どもたちに本の扱いのマナーを教えた機会もあった。本を大切に扱うことは必要なので検討していきたい。

## 2. 図書館サービスについて

意見：利用者用のコンピュータは職員が使っているものと同じか。

図書館：アクセスしている元は一緒である。

意見：インターネットはどうか。

図書館：インターネットと業務用とは見るところは同じだが、サーバを別にしてている。

意見：自分の今まで読んだ本を知りたいのだが。

図書館：返却されると消去する。図書館が情報を持っていると危険性が高い。利用者の読書記録は図書館は持っていない。

意見：今度のパソコンは検索しやすくなるか。

図書館：タッチパネルだが、今度はキーボードを使用するものを1台置いて、変換できるものを置くことにしている。また、リクエストカードを書かなくてもプリントアウトできるようにしたいと思っている。利便性を高めるように努力している。

意見：文教委員会の議事録を見ると、ICタグの予算のことを質問していて館長からは財政的に難しいという答えしか出ていない。コンピュータを変

える予算は入っているか。

図書館：コンピュータのリース代は出ている。ICチップは金額的な検討はしたが、1枚100円かかるので50万冊だと5000万円かかり、1年で5000万円は厳しいので3～4年に分散するような手法が必要だ。